

授業でも！

つかえる

ちゃぐりん

VOL.74



◇記事名:『ちゃぐりん』2019年6月号
「表紙の食&農クイズ」P148～149

◇対象:学活(3、6年生)、社会科(5年生)

文・藤本勇二(武庫川女子大学 専任講師)

「表紙の食&農クイズ」は季節の食と農の話題が紹介されています。大切なことを短くまとめた答えを生かして、給食の時間、朝の会や帰りの会に短い時間で子どもたちに伝えることができます。今回は、毎日給食に登場する牛乳がテーマです。子どもたちの関心が間違いなく高まるでしょう。

1:6月1日は何の日 (6年生:学活)

「世界牛乳の日」の意味を知ることを通して、食べ物と記念日の関係について感心をもつ授業にします。

まず、「〇〇の日」について知っている記念日を話し合うことから授業を始めます。「はちみつの日(8月3日)」「やさいの日(8月31日)」「チーズの日(11月11日)」などを紹介しましょう。「チーズの日」は飛鳥時代、文武天皇がチーズの元祖といわれる「蘇」の製造を命じた月に由来し、設定されたことも伝えます。

次に6月1日は何の日か話し合います。ちゃぐりんの記事を読んで「世界牛乳の日」であることを紹介したり、6月が牛乳月間として制定されていることも伝えると良いでしょう。World Milk Dayの世界の試みについても考えるようにします。

最後に牛乳の栄養について考えたり、ちゃぐりんの記事を読んで牛乳について考えたりします。

2:牛乳は変身する? (3年生:学活)

給食の献立表から乳製品を見つける活動を通して、牛乳が様々な食品に加工されることに気づかせる学習です。

「表紙の食&農クイズ」の問題②から授業を始めます。答えがヨーグルトであることを確認した後、給食の献立表の中から牛乳が変身した食品を探します。バターやチーズなどの乳製品が使われていることに気づかせるようにしましょう。

次に乳製品の良さについて話し合い、食感、味、用途、保存性、栄養価が豊かに変化することを伝えます。栄養士の先生からお話を聞くようにするとさらに学習が深まります。

最後に牛乳以外の変身した食品を献立表の中から探します。お米、小豆、小麦粉などがどのような食品になるかを考えるようにします。

3:北海道からの贈り物 (5年生:社会科 流通)

社会科(流通)の内容において、牛乳を取り上げ、自分たちの生活と牛乳を運ぶ人たちのつながりに気づかせる学習です。

「表紙の食&農クイズ」の問題①から授業を始めます。生乳から牛乳になる過程を確認したあと、給食の牛乳がどこの地域から来ているかを話し合います。給食の牛乳の多くが北海道から届いていることを伝え、乳牛は暑さに弱いこと、えさを育てる広い土地が必要なことなどの理由から北海道で酪農が盛んであることを紹介します。

次に北海道からどのように「生乳」を運んでいるのかを話し合います。丸1日かけて生乳を運ぶ「ほくれん丸」を紹介し、その船の特徴や工夫をグループで考えます。「たくさん」「衛生的に」という2つの条件で考えさせ、理解を促します。



JAグループの食農教育を
すすめる子ども雑誌

ちゃぐりん

Child Agriculture Green

子どもたちに伝えたい!

2019年7月号
おすすめ記事

小島よしおの野菜はトモダチ!

掲載ページ:10~11P



お笑い芸人の小島よしおさんと野菜について学習する連載企画。今月のトモダチは夏の水分補給にぴったりの「キュウリ」です。野菜の王様ともいわれ、ギネスブックにのったこともあるキュウリの秘密を探りましょう。

夏休み水分チャージ大作戦

掲載ページ:22~24P



たくさん汗をかく夏には水分補給が大切です。朝ごはんではごはんのみそ汁、ランチやおやつでは野菜や果物で水分を取りましょう。みそと具を混ぜるだけでできる「みそ玉」の作り方もご紹介。しっかり水分補給をして元気に夏を過ごしましょう!

会いたい!! 世界の小学生

掲載ページ:48~49P



小学三年生のハンナ・ユロブスカちゃんがポーランドについて紹介します。ヨーロッパの東部にあるポーランドには、野菜やフルーツを使った料理がいっぱい。主食にはジャガイモを食べます。ハンナちゃんの生活を通して、ポーランドの文化をのぞいてみましょう。

ゆうこ先生と楽しく作ろう 行事のおやつ

掲載ページ:147P



毎月、行事のおやつを紹介する連載企画。今月は7月7日の七夕にちなんだ「星空アイス」です。星形のアラザンやチョコペンを使って、天の川のように飾りつけてみましょう。ヨーグルトを使ったアイスは暑い夏でもさっぱり食べられます。